

平成 26 年度 第 4 回理事会	
日時	開催日 平成 26 年 10 月 11 日 (土)
出席者	<p>理事長：木村了</p> <p>理事：角田ふで子、石田佳子、犬走朱見、藤井由美、宮地奈保子</p> <p>監事：関矢英士</p> <p>顧問：氷上澄子、酒井一江</p>
審議結果の概要等	<p>(1) 審議</p> <p>① 理事会議事録は現在 Web に概要を掲載しているが、理事会の透明性を確保し、協議結果を迅速に会員に伝達するため、全体MLにて開示することとした。</p> <p>② 本法人の活動広報のため、ニュースレターを関係者へ送付することとした。</p> <p>③有志での勉強会等の集まりの提案に関して、本法人の名前を使用することは、提案が社会貢献活動や研鑽と結びつけられるものであれば問題はなく、場合によっては主催としてもよいとした。</p> <p>④冊子のバージョンアップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年の「女子中高生夏の学校」までに間に合わせることとし、広く会員からプロジェクトのためのメンバーを募る。 ・「目指す職業へのアプローチの方法」及び「理系の仕事」の例を増やし、出前講座に関すること、より詳細に掲載する。出前講座の資料としても使える。 ・「中学生向け」、「大学生向け」も作る方向とする。 <p>(2) 報告</p> <p>①各担当理事より部会活動報告及び今期計画があった。</p> <p>広報：「女子中高生夏の学校 2014」は、冊子「理系の仕事って？」を配布し、中高生、保護者、教員に、理系への進路選択及びその後の技術系職域について説明した。ニュースレター Vol. 21 の進捗状況。</p> <p>企画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座に関するアンケートは、会員への再度の依頼の後、集計結果に関して別途、報告書を作成し Web にて紹介する。中長期的には会員が出前講座を行う際の支援（ノウハウやロールモデルの構築など）につなげる。 ・サイエンスアゴラ 2014 の準備状況 11 月 8 日、9 日で、「理系の仕事って？」を配って説明を行う。 ・シンポジウムとりまとめに関して 来年の総会で報告したい。 ・来年度のシンポジウムのテーマは、企画部からは「女性の職場環境・ワークライフバランスに関して」を提案。各部会でテーマを出して欲しい。 ・環境学習「だいし水辺の楽校」の見学会の報告 <p>国際：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I C W E S 16 に関して 前回 I C W E S 15 から引き続き、「世界の働く女性の労働環境を聞いてみよう」をテーマに、本法人主催のワークショップを開催予定。パネリストは決定。 ・日中韓女性科学技術指導者フォーラム報告 ・日韓女性技術士交流会に関して 今回は懇親会のみであり、挨拶、活動紹介を実施。 <p>総務：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員状況

10月10日現在 正会員（71）名、協力会員（7）名、賛助会員（39）名

- ・会費の納入率は約50% 納入方法は良い案を検討するが、当面は、従来通りとする。

事務局：

- ・Webの「震災復興基金」案内は、3年半を経ており、支援内容も違ってくるのではないかと。支援した内容を報告したほうがよい等の意見を受け、本法人の震災復興関連の支援事業に関して案内を見直す。
- ・本法人支援者の慶事に際し、お祝いレターを送付。
- ・本法人任意団体当時の会長東山セツ子氏の（公社）日本技術士会名誉会員受称に関し、有志でお祝い会及びお祝いメッセージの作成を計画。

②Webチームは常設プロジェクト（Webプロジェクト）とし、法人運営組織図の掲載をはじめ、より分かり易い情報を発信する。

(3) その他

（審議）

- ・新入会員（1年目）が、遠方（例：日韓女性技術士交流会）へ自費参加する場合、交通費支援を規約に基づいて行うこととした。

（確認）

- ・本法人の運営体系は、会員の意見を各部会で吸い上げ、それを理事会で審議し、部会を通じて全体に戻す、これを基本（最上位）とする。各部で部会を開いて、会員の意見を吸い上げた活動をすべきである。

- ・次回理事会は12月13日（土）10：00～12：00 以上

	平成 24 年度 第 3 回理事会
日時	開催日 平成 24 年 8 月 2 日 (土)
出席者	理事長：木村了 理 事：角田ふで子、石田佳子(委任状)、犬走朱見、藤井由美、宮地奈保子
審議結果の概要等	<p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回作成の冊子は夏学 (100 冊) とアゴラ (300 冊) で使う。今後は事例を増やし配布するのに適した事業があるたびに印刷する。 ・新 Web サイトの管理運営は迅速性と IT 技術対応を考慮し、立ち上げに係わった各部会代表者でサイトチームをつくりこれに当たる。 ・Web サイトの刷新に伴い会員相互の技術交流の機関を設ける。 ・これまでで交流のあった人材の連絡先を整理し、シンポジウムやイベント等で活用する。 ・本法人は、これまで補助金等の申請を行ってきたが、効果は得られなかったため、見直しを行う。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担当理事より部会活動報告及び今期計画があった。 <p>広報：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューズレターVol. 20 の進捗 ・夏学での配布物は、法人のパンフ 20 部、ポートフォリオとする。今回作成した冊子「理系の仕事って？」は、今後も会員内で情報収集・整理を行いバージョンアップする。 <p>企画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学会は 8/23 (土) 予定。詳細は更に検討後、会員に案内。九工大懇話会は本法人から 2 名参加し、仕事・子育て等が話題となった。アゴラは「理系の仕事」というテーマで出展となった。 ・全会員に「出前講座」に関するアンケートを実施。内容を検討中。まとめをアゴラまでに行い、内部資料として用意する予定。 <p>国際：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICWES16 のパネリストに関しては APNN にて、3 名の外国人 INWES メンバーに依頼をした。 ・APNN (7/29～31 開催) へは本法人からは 1 名が日本の女性技術者の状況と本法人活動を発表した。INWES-J として次期 APNN 議長国の立候補を行い受理された。 ・日中韓は (モンゴル自治区で 8/13～15 開催予定) 本法人から 1 名が途上国における女子の理系教育の必要性に関しての発表を行う。 <p>プロジェクトチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web サイトプロジェクトは順調に機能し始めている。今後も随時修正を行う予定である。 <p>総務：会員状況と運営資金状況報告 事務局：今年度活動資料の内容確認</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPEW 倶楽部については、施設は会議だけではなく喫茶・食事も出来個室利用も可能な立派な施設であることから本法人の憩いのサロンとして利用させてもらうこととした。 ・「男女共同参画学協会連絡会シンポジウムプログラム」と「分科会 A (案)」の確認を行った。 ・Web サイトに載せる理事長挨拶の査読 ・次回理事会は 10 月 11 日 (土) 10 : 00～12 : 00 以上

	平成 26 年度 第 2 回理事会
日時	開催日 平成 26 年 6 月 14 日 (土)
出席者	理事長：木村了 理 事：角田ふで子、石田佳子、犬走朱見、藤井由美、宮地奈保子 顧 問：岩熊まき
審議結果 の概要	<p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営資金について 本法人の活動目的に基づき有効に使う方法を考える。夏学用に冊子を作成する。 ・ 夏学準備 昨年使用したポスターを使用し、理系進学と就職、理系の仕事について説明を 行 う。パンフレット及び冊子を配布する。冊子は、手元のポスターから関連図と仕事の説明図 を流用する。 ・ 正会員 3 名の所属を確定した。 ・ ICWES16 について ワークショップ第 2 弾は、前回のセッションで明らかになった、子育て・家事との両立の 悩みを受けて、「貴方の国ではどのように解決しているの？」という方向でセッションを行う。 会員に向けて参加者募集を数回に分けて行う。 ・ ウェブサイト 現在の活動が分かるスピード感のあるトップページ、申し込み等の簡易化を図る。 ・ 補助金等申し込み方法の見直しについて ターゲットを決めて申請する方向に持っていくこととした。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各担当理事より部会活動報告及び今期計画があった。 広報：ニュースレターの進捗状況及び夏学の展示に関して。 企画：見学会開催・シンポジウムのまとめ、出前講座の情報収集を進めている。九州工業大 学からの懇話会協力依頼があった。 国際：7 月の APPN (韓国)、本法人からは井本会員が発表、8 月の日中韓女性科学技術指導 者フォーラム (モンゴル自治区) は、本法人からは松田会員が発表。 総務：本年度の総会の総括、会員状況 事務局：本年度の総会の終了報告及び都に提出する事業報告書 プロジェクト：Web サイトプロジェクト進捗状況(ベース案で意見交換中)。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長 男女共同参画学協会連絡会への参加は、「学術論文を作成」という資格条件があり、見送り となった。 ・ 事務局 関矢監事紹介の集会室は 7 月末で調整。 ・ 次回理事会は 8 月 2 日 10:00～ 以上

	平成 26 年度 第 1 回理事会
日時	開催日 平成 26 年 4 月 12 日 (土)
出席者	理事長：木村了 理 事：角田ふで子、石田佳子、犬走朱見、藤井由美、宮地奈保子 顧 問：氷上澄子 監 事：関矢英士
審議結果 の概要	(1) 審議 ・ 総会について 資料内容及び訂正箇所の確認、総会案内の時期等工程、当日スケジュールを再確認した。 ・ 活動計画について 夏の学校はポスター展示、日韓女性技術士交流会は懇親会のみ、ICWES16 は採択が確定したら準備を始める。 ・ 男女共同参画学協会連絡会への入会 入会することとし、今後同連絡会の「女性技術者の耀く未来」ワーキンググループとして連絡会に関わってゆく。 (2) 報告 ・ 各担当理事より部会活動報告及び今期計画があった。 広報：広報活動活性化については、多くの会員（特に首都圏以外の会員）に活動参画してもらうことと、対外的な広報戦略が今後の課題としてあげられる。 企画：シンポジウムの纏め作業、会員研鑽としての見学会を行う。今年はこれまでの活動に加え出前講座を積極的に行いたい。 国際：日韓、日中韓等の国際交流イベントには、国際部に限らず広く参加者を募りたい。 総務：会員の入退会状況、収支状況及び法人三つ折りパンフレット更新状況の報告。 事務局：ウェブサイトリニューアルプロジェクト進捗状況 (3) その他 ・ 日刊工業新聞執筆者等は遠方会員の活動参加意識の向上のため、先ず遠方会員に活呼びかける。 ・ 次回理事会は 6 月 14 日 10 : 00 ~ 12 : 00 以上